



発行
西尾市立
一色西部小学校
P T A
編 集
PTA 文教委員会



「地域で子育て」

PTA会長 牧野 健次

先日、目を背けたくなるようなニュースがありました。五歳の女の子が両親からの虐待を受け亡くなってしまった話です。児童相談所も近所の人、女の子が虐待を受けていることを知っていたのに、救うことができなかったのです。

地域の繋がりが希薄になってきたと言われる昨今ですが、一色西部小学校区では、昔ながらの近所付き合いがまだ残っています。我が娘たちも近所の人に、挨拶することを教えてもらい、遊んでいる姿を見守られながら育ってきました。この地域の特性を生かしてあのような悲劇を生まない地域作りができたらと思います。

子どもたちはいろいろな人に見守られ、たくさんのお愛を受けて育っていくことが望ましいと考えます。『遠くの親戚より、近所の友達』という言葉通り、地域で子どもたちを育てていく気持ちを持ち大切にしていけたらと強く願います。

保護者の皆様には、日頃からPTA活動にご協力をいただきありがとうございます。今後とも、ご理解とご協力をお願いいたします。



平成30年度 PTA役員のみなさん



「元気なあいさつ
楽しい学校をめざして」

校長 稲垣 岳人

毎朝、正門前では子どもたちのさわやかな「おはようございます」のあいさつが聞こえてきます。さわやかで元気なあいさつをしたり、されたりすることで今日一日の始まりが気持ちよく迎えられる。横断歩道を渡り終えた子どもたちの中には、止まっている運転手に一礼をする子も見られます。きつと運転手の方も、朝の忙しい時間帯で赤信号で止まっていることに少し苛立（いらだ）ちを感じる人もいるかもしれませんが、子どもたちのあいさつやその一礼で少しは心が癒（いや）されるのではないのでしょうか。

毎月行われる全校朝会での、子どもたちとのあいさつも非常に楽しみにしています。全校朝会では、体育館へ学級ごとに静かに入場します。そして、進行係の「それでは、朝のあいさつをします」という言葉で、児童会長の山田凛さんが舞台前にさつと進み出て、元気な気合いの入ったあいさつをします。私は、舞台の一番前で全校児童三百七人の元気なあいさつを体全体で受け止めます。三百七人の元気なあいさつを受けると背筋が自然と伸びます。なんとも言えない緊張感を体全体で感じながら、そして、その後、体育館中に響くくらい元気な大きなあいさつを全校の子どもたちに返します。ぴーんと張りつめた空気の中で

あいさつの交換は、とても心地よく西部っ子との心のふれあいの場所になりました。あいさつの「昔前になります、」「あいさつは、心の扉を開くカギ」という標語がありました。あいさつの大切さを子どもたちに指導するときにいつも使っていた言葉です。実は、「あいさつ」という言葉を漢字で書くと「挨拶」となります。受験勉強に出るような少し難しい漢字です。この「挨拶」の漢字の意味には、「心を開く」という意味があり、「挨拶」には「相手に近づく」という意味があるそうです。つまり、あいさつは心を開いて相手にするものであって、あいさつをすることによって相手も心を開いてくれます。あいさつはお互いの心を開くすてきな言葉なのです。また、あいさつをすることでお互いの距離が近づくのです。この距離とは心の距離です。あいさつをすることは友達作りの第一歩でもあり、人間関係がスムーズになる魔法の言葉でもあります。是非とも、今後児童会と協力して、子どもたち一人一人が元気なあいさつができる学校をめざしていきたいと思っています。

私の好きな言葉に「学校は、楽しいところであらねばならぬが、時に歯を食いしばって、涙をこらえてがんばるところでもある」があります。勉強をすることや運動をすることを楽しいと思える子どもたちを育てていきたいと考えています。子どもたちが楽しいと感じる行事を新たに計画していきます。そして、学校が楽しいと言える子どもたちを一人でも多く育てていきたいと思っています。

「元気なあいさつ 楽しい学校をめざして」を今年一年のキャッチフレーズとして、職員一同全力で取り組んでいきます。健やかな西部っ子の育成のためにも保護者の皆様、そして、地域の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

一西小の教育活動より

運動会

がんばったドラえもん

一年一組 やすば そうげん

ぼくは、ドラえもんのダンスが、こころのこつています。どどどどどどどどどドラえもんのおどりが、おもしろくて好きです。いどうではしるところがたのしかったです。

ほんばんは、さいしよきんちようしたけれど、おどっていたらたのしくなりました。

おかあさんが、

「がんばったね。」

といってくれました。ほめてもらえてよかったですおもしました。

がんばったドラえもんダンス

二年一組 山崎 優里愛

わたしは、うんどう会でダンスをがんばりました。きよくは、「ドラえもん」みんなのたからじまです。四月から、「ここにこえがお」や「大きなうごき」のめあてにむかってれんしゆうしてきました。わたしが一ばんがんばったところは、「ここにおいでよ」のふりつけです。ほくしゆがたくさんもらえてとてもうれしかったです。



運動会でがんばったこと

三年二組 榎原 唯宇

ぼくが、運動会で一番がんばったことはダンスです。三年生は、四年生といっしょにフォロミーというきよくをおどりました。はじめてきよくを聞いた時、しらないきよくだったのでむずかしそうだなあと思いました。れんしゆうがはじまり、やっぱりさいしよはむずかしくてついでいくのが大へんだったけど、れんしゆうするうちにだんだんとおどれるようになってきました。本番は家ぞくが見に来てくれました。はじまる前に、「一、二、三、ダー」と気合を入れたいままで一番楽しくおどることができました。



思い出のダンス

四年一組 鈴木 あんじ

私は、運動会でダンスをおどりました。曲は、フォロミーです。はじめておどったときは、とてもむずかしかったです。でも練習をたくさんしてみんなも上手くなっていました。しかし、私には苦手なところが一つだけありました。それは、足をクロスしてむきをかえるところです。順番にまわるのでむずかしかったです。本番までに上手にできるか心配でした。



がんばった組み立て体そう

五年二組 大橋 桜和

私が運動会でいちばん心に残ったことは、組み立て体そうです。練習のとき、先生は、「止まったときが一番かっこいい。」と、言っていました。本番でもはだしで演技し、ウェーブで立ちひざをするときは、少しいたかったです。私は、ほとんど土台だったので上の子を支えるために、なるべく動かないように工夫しました。本番のときは、風が強かったけど、いろいろな技を成功させることができてうれしかったです。

手の先までしつかりのばして、胸を張って演技をすることができました。十人技では、みんなで力を合わせてがんばりました。

来年の組み立て体そうも五・六年生で心一つにして、最後までがんばりたいです。



小学校最後の運動会

六年二組 天野 百花

私が運動会で一番心に残ったことは、組み立て体操です。小学校最後の運動会なので、成功させたいという気持ちと不安な気持ちが入り混じりました。練習では、サーフィンやサボテン、やぐらを失敗していたので、本番は成功できるかとても不安でした。

本番直前に、目を閉じて今まで練習してきたことを思い出した時、指先をしっかりと伸ばすことと目線を指揮台へ向けるなど気を付けなければいけないことを思い出しました。一か月間練習してきたことをすべて出し切りたいという思いをもち、笛の合図とともに入場門をくぐりました。

今まで練習してきたことをふまえて、一つ一つの技を集中して行いました。

その結果、本番では一つも技を失敗することなく、技を完ぺきに決めることができました。

小学校最後の運動会で全力を出し切ることができてよかったです。



たくましい西部っ子

P T A書記 渡邊 和寿

五月十九日、今年度になって全校児童によって行う最初の行事である一西小の運動会が行われました。強い風で砂ぼこりが舞う状況の中で、子どもたちが一生懸命に最後まで競技に挑んでいる姿は、とてもたくましく見えました。特に一年生は入学して間もないのに本当によく頑張ったと思います。

一年生から六年生までのリレーや応援合戦も、お腹の底から大きな声で応援をしたり、力強く拍手をするなど心を一つにして取り組み、一つのチームとして最後まで全力を出しきる姿は、両チームとも勝たせてあげたいと思いました。

競技や演技をやり終えたあとの満足気な清々しい笑顔がとても印象的でした。

先生方、保護者の皆様の協力のおかげで、精一杯がんばる子どもたちの姿を見ることができて本当に楽しませていただきました。ありがとうございました。ありがとうございました。



P T A活動より

親子あすなるフォーラム

世界で一つのオリジナルTシャツ

五年一組 村瀬 香星

私は、あすなるフォーラムの親子ふれあい講座で、Tシャツ作りをしました。みゆなさんといっしょにおそろいのTシャツを作りました。最初、私はTシャツなんか作ったことがなかったので、できるかとても心配でした。しかし、作り方を講師の先生に聞いていたうちに、だんだん出来るように気がしてきました。

私たちは、犬のTシャツを作りました。いろいろな型がありましたが、犬の型を選びました。始めに、小さい犬の色ぬりをしました。色は、はだ色っぽい色にしました。けっこうかん単にできました。うらも犬にしました。大きい犬にしたので少し難しかったです。思い出に残る貴重な体験が出来た一日でした。



家族で楽しくテーブルフラワー

六年一組 木口 綾乃

私は、母と妹と一緒に「テーブルフラワー」の講座に参加しました。

バラやサマーチェリー、ヒペリカムなど、たくさんの種類の花がありました。私は、明るい感じにしようと思って、明るい色の花を選びました。花をさすときには、親子で相談しながらやりました。花をさした後、町の先生に「主役を目立たせるといいよ」とアド

バイスをもらい、私は、バラを主役にしていたので、それを目立たせるようにしたら、とてもいい感じになりました。

花をさすのは、むずかしかったけれど花を通して、家族の会話が生まれ、楽しい時間になりました。



あすなるフォーラムに参加して

P T A 文教委員長 三矢 智也

六月十六日、あすなるフォーラムに参加しました。子どもと共に配付された資料を見ながら「サンドブラスト」というオリジナルガラス製品づくりに決めました。当日は梅雨の晴れ間が広がり、朝から親子共々期待に胸を膨らませ会場に向かいました。各講座に分かれ、講師の先生からの説明を受けました。思ったよりも作業は難しそうで心配になりましたが、「私はこのグラスにする！でも絵がちやんと入るかな、大丈夫かな」「僕はこ

れにする。絵はこれがいい！」と各々取り組んでいました。長女は高学年ということもあり、親に頼りつきりではなく、友達と一緒に考え、会話をしながら製作。息子は低学年ということもあり、上手に工作用カッターが使いこなせず、四苦八苦しながら最後までやり切りました。一つのこと集中し、諦めない力が身に付いてきているのだと隣で成長を嘯みしめました。

今回、普段は見られない子どもたちの表情・姿

成長を感じることができました。親子で一つのことに取り組むという機会はなかなかありません。

学童期という親と子が共に過ごせる今を大切に、今後は積極的に「親子で楽しい時間を共有する」そんな時間を大切にしていきたいと思いました。

講師の先生、学校の先生、ありがとうございます。そして子どもたち、ありがとう。

子どもたちの表情・姿



学校保健委員会

子どもの育て方に対して

P T A 保健委員長 大島 伸一

六月十六日、体育館で開催された学校保健委員会に P T A 保健委員長として参加させていただきました。名古屋学芸大学教授の森英子先生を講師に迎え「子どもの脳とゲームとの関係性」をテーマに講演していただきました。

講演では、学校や会社に行かず半年以上外出しない十五歳から三十九歳の人が五十四万人で、その中の六十パーセント以上が、男性とのことでした。先生の話を聞いてみると、自分にも当てはまる場所があり大変驚きました。日本は、自己肯定感が世界で一番低いそうで、中でも「失敗を恐れる」と言ってみえたのが印象に残りました。後半は、「朝食習慣」「睡眠のリズム」「子どもにゲームは害しかない」などのお話でした。自分の子どもも育て方を考え直す必要性を痛感しました。

今回の学校保健委員会に参加し、自分が子どもに対して行動するとき

に先生の言葉を思い出し実践しようと思えました。まず、「ゲームを一時間やったら自分の意思でやめる」を子どもに教えた

いと思えます。

講演では、学校や会社に行かず半年以上外出しない十五歳から三十九歳の人が五十四万人で、その中の六十パーセント以上が、男性とのことでした。先生の話を聞いてみると、自分にも当てはまる場所があり大変驚きました。日本は、自己肯定感が世界で一番低いそうで、中でも「失敗を恐れる」と言ってみえたのが印象に残りました。後半は、「朝食習慣」「睡眠のリズム」「子どもにゲームは害しかない」などのお話でした。自分の子どもも育て方を考え直す必要性を痛感しました。



資源回収のお礼

五月二十六日実施

- ◎資源回収収益金 37,510円
- ◎資源回収報奨金 65,695円

ご協力ありがとうございました。

第二回資源回収は、

九月二十九日(土)に実施します。